

 株式会社データム

# 確率変容ペルソナ分析のご案内

— 数字で「有望対象」が分かる、実務向けペルソナ分析 —



# 次のうち、あてはまる項目はありますか？

1つでもあれば、お役に立てる  
**アンケート分析**のご案内です。

※本企画は、上記の悩みを  
if Y(目標達成)という、  
大胆な前提転換から整理し直します



AIのようなブラックボックスではなく、  
一つひとつの判断根拠を数字で確認できる分析のご案内です



目標達成の手がかりを、最短で探索できたらいいと思う



ペルソナ分析って、どうしても“それっぽい物語”になりがちだと思う



数字だけで有望対象のプロフィールが分かるとしたら、実務で使える



回答者の有望度を偏差値で示し、ランキングできるとしたら、実務で使える

# 本企画の全体像

1

if Y (目標達成への前提転換)から始める分析の狙い  
: 超効率的な手がかり探索

2

差分検定による意味ある変化の抽出

3

ペルソナリスト、ペルソナ適合度、ペルソナ偏差値

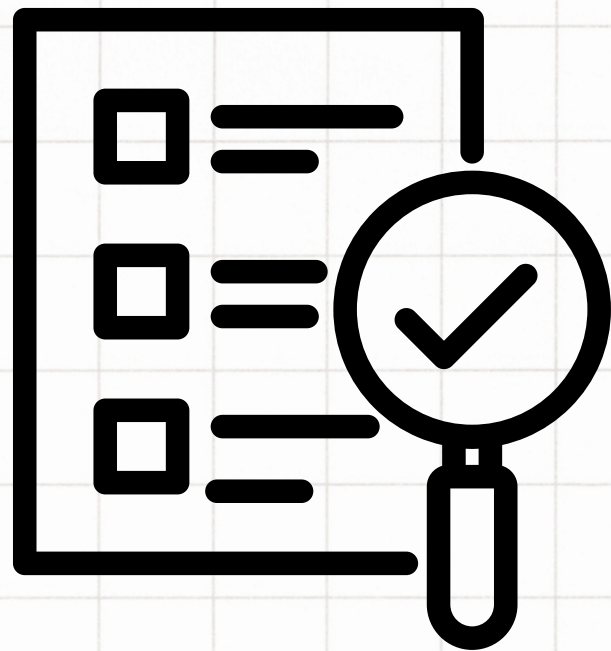
4

顕在有望層/ポテンシャル有望層/非有望層、  
回答者の有望度3層構造

# アンケート分析でよくある課題

次のようなお悩みはありませんか？

その結果、施策立案で最も大切な“注目すべき対象は誰か”を見逃してしまうことがあります。



課題:原因探しから始まり、論点が拡散しやすい



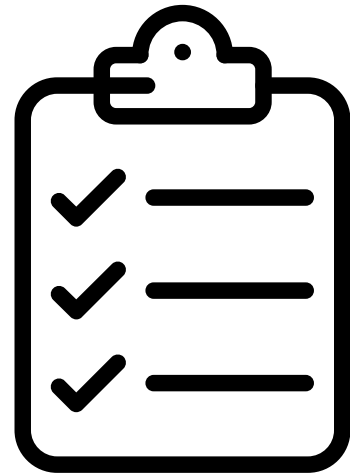
どの対象に注目すべきか、よく分からない



分析結果が次の打ち手につながりにくい

# 確率変容ペルソナリストの作成

1



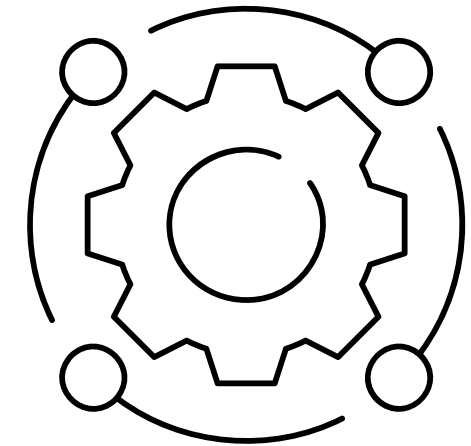
達成世界で有意に  
増減した特徴のリスト

2



GT%を基準とした  
厳密な特徴定義

3



物語ではなく  
達成世界における  
「構成条件リスト」  
として活用

# ペルソナ適合度の算出

- 回答者がどれだけ達成世界に近いかを数値化
- $W_x = Z_x \times \Delta p_x$  による重み付け

(注)  $Z_x$ =結果再現の信頼性(確かさ)を表す統計量Z値

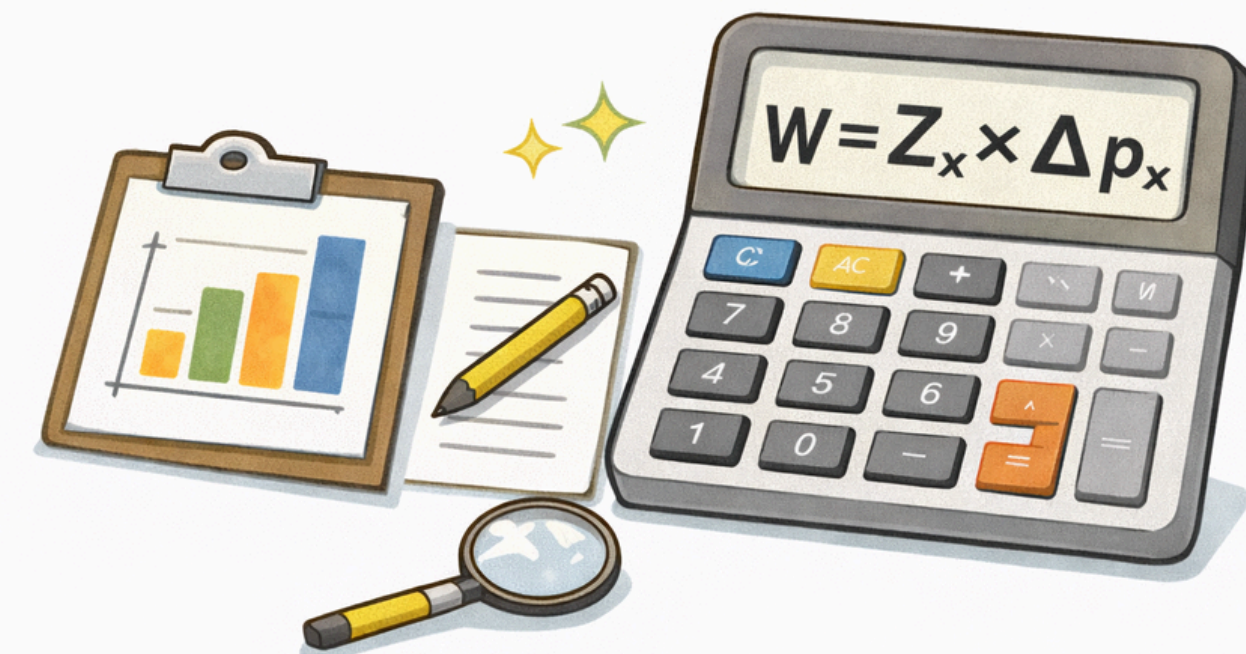
$\Delta p_x = P(X|Y) - P(X)$ 、確率変容度(単位はpt)

$W_x$ は、「効き目(差分)×確かさ(Z)」をひとつにした重みです。

達成世界へ前提転換した場合、“どれだけ大きく、どれだけ確かに”

変わったかを反映する重みです。

- プラス特徴は加点、マイナス特徴は減点



# ペルソナ偏差値

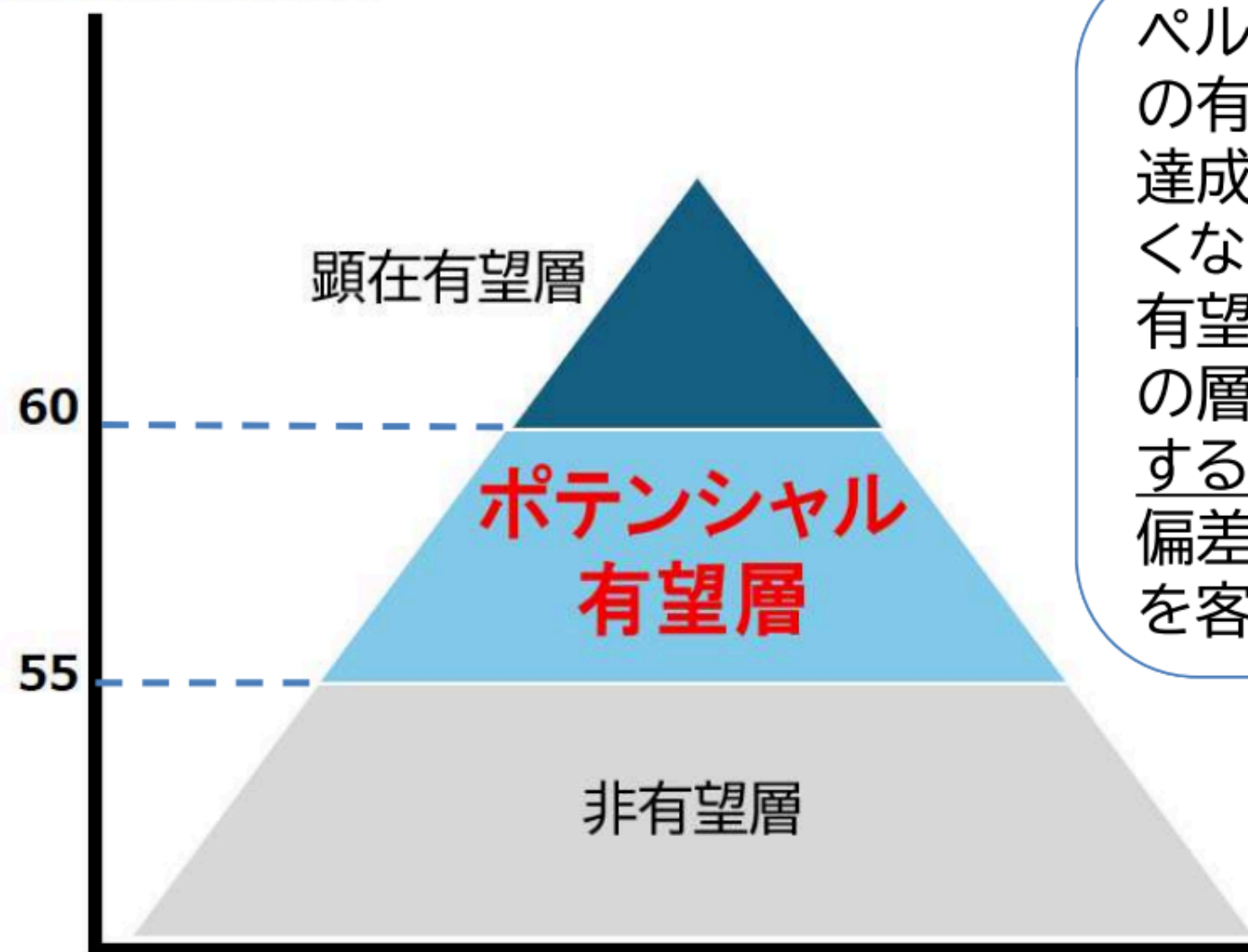
- 予測ではなく、「構造的な近さ」の指標
- 回答者の達成世界における適合度を偏差値化し、比較尺度として利用
- 母集団内での相対的位置づけを可視化



# 回答者の有望度3層構造

- 顕在有望層:既に目標を達成している層
- ポテンシャル有望層:未達だが適合度が高い層
- 非有望層:適合度が低い層

ペルソナ適合度偏差値



ペルソナ適合度偏差値を用いれば、回答者の有望度を客観的に識別できます。目標達成者の中にも、実際は適合度があまり高くない方もいますし、目標未達者の中にも、有望度が高い人は多くいます。さらに、この層は少しの後押しで、顕在有望層に転換する可能性が大です。実はペルソナ適合度偏差値は、こうした“質量共に有望な層”を客観的に識別し、可視化する指標です。

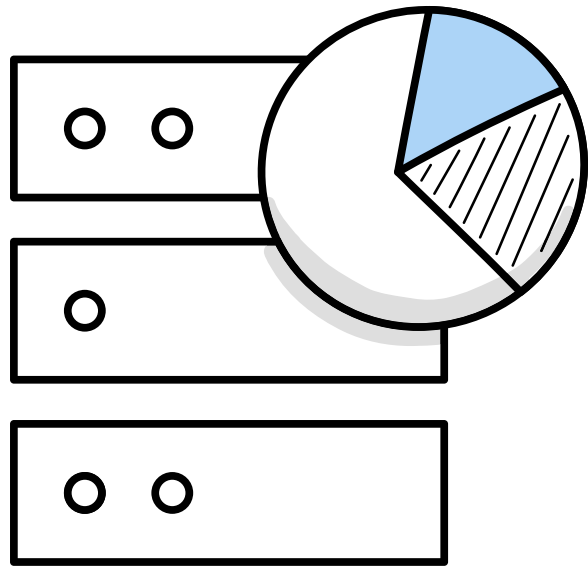
# この分析で得られる価値

- 成果につながる特徴を最短で把握
- 顕在/ポテンシャル有望層の識別
- 施策優先順位の明確化



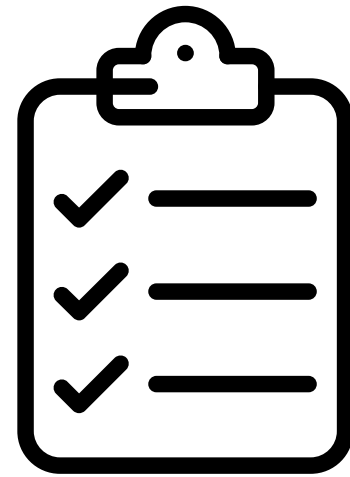
# 主なアウトプット

1



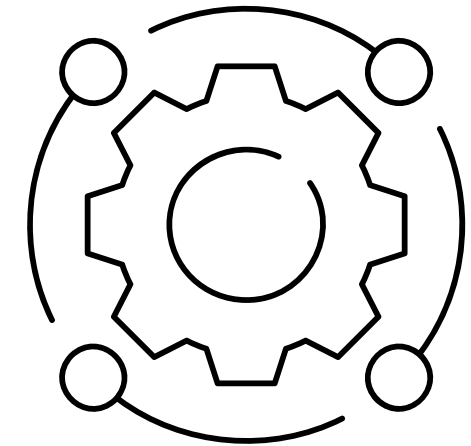
ハイブリッド  
クロス表

2



確率変容  
ペルソナリスト

3



ペルソナ適合度  
偏差値一覧

# アウトプットイメージ①:ハイブリッドクロス表

- ハイブリッドクロス表：2種類の特徴(ボリューム、確率変容の確かさ)がひとめで分かるクロス表

データバー：各項目のGTボリューム

全体及び各表側のトップカテゴリーを**赤太字**で表記

母比率の差両側検定結果の凡例（表頭項目の前提として表側項目を組み込んだ場合、意味の有る確率変容・インパクトをもたらすペア項目＝特徴がある、必然な関係）

**	1%水準（99%の信頼性）で有意に高い	*	5%水準（95%の信頼性）で有意に高い
//	1%水準（99%の信頼性）で有意に低い	/	5%水準（95%の信頼性）で有意に低い

		Q1.年齢									
		合計	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	無回答	平均
	全体	1000	0.0	8.2	13.2	12.6	16.9	22.1	25.8	1.2	55.65
目標対象	高頻度利用層	368	0.0	7.1	/ 10.1	11.7	* 20.4	** 26.6	23.6	0.5	56.72
	それ以外	632	0.0	8.9	* 15.0	13.1	/ 14.9	// 19.5	27.1	1.6	55.02

		Q2.職業												
		合計	自営業	専門的職業(医師・弁護士など)	公務員	会社役員・団体役員	会社員・団体職員	派遣・契約・嘱託など	パート・アルバイト・内職	学生	主に家事・育児をしている	無職	その他	無回答
	全体	1000	14.1	1.7	5.6	3.1	18.7	3.2	13.7	1.0	8.5	24.1	4.3	2.0
目標対象	高頻度利用層	368	** 19.8	1.9	6.8	4.3	** 25.0	3.5	// 6.5	1.6	// 0.3	25.5	3.8	/ 0.8
	それ以外	632	// 10.8	1.6	4.9	2.4	// 15.0	3.0	** 17.9	0.6	** 13.3	23.3	4.6	* 2.7

※目標対象を表側に設定したクロス表です。そのため、縦方向（横方向ではなく）の比較で特徴要因を識別します。当スタイルの全問クロスを行うことで、効率的に一括抽出できます。

# アウトプットイメージ②:確率変容ペルソナリスト

【マーカー凡例】

	目標対象 (高頻度利用層)
	1%水準 (99%の信頼性) で有意に高い
	5%水準 (95%の信頼性) で有意に高い
	1%水準 (99%の信頼性) で有意に低い
	5%水準 (95%の信頼性) で有意に低い

項目No.	1	2	3	4
項目名 項目属性	目標対象 SA	Q1. 年齢 SA	Q2. 職業 SA	Q3. 環境問題への取り組みについて、重要だと思うこと MA
カテゴリー名				
1	高頻度利用層	20歳未満	自営業	森林や緑地、水源地などの保全
2	それ以外	20歳～29歳	専門的職業(医師・弁護士など)	河川や池、水路などの水質の保全
3		30歳～39歳	公務員	動植物など、自然生態系の保全
4		40歳～49歳	会社役員・団体役員	太陽や水など再生可能エネルギーの活用
5		50歳～59歳	会社員・団体職員	節電など省エネルギーの推進
6		60歳～69歳	派遣・契約・嘱託など	再生可能エネルギーと自然環境との調和
7		70歳以上	パート・アルバイト・内職	過剰包装の自粛や生ごみ処理機など、ごみの減量化
8			学生	ビン、缶、ペットボトル、古紙など、資源の回収と再利用
9			主に家事・育児をしている	農業や化学肥料などの利用自粛、有機型農業(環境保全型農業)の推進
10			無職	地域の環境美化や清掃活動への参加推進
11			その他	不法投棄の監視体制の強化
12				環境保全意識の啓発や、環境教育の推進
13				その他
14				

※全てのクロス集計結果について、マーカーで特徴要因を識別した一覧リストをご提供致します。  
 目標対象の厳密な特徴一覧なので、有意な“確率変容ペルソナリスト”と言えるでしょう。

# アウトプットイメージ③:ペルソナ適合度・偏差値一覧

重み Wx⇒ 0.00 0.00 -2.30 0.00 2.45 3.30 0.00 3.58 0.00 0.00 4.80 0.00 0.00 -3.50 0.00 -4.20 0.00 0.00

対象区分	確率変容ペルソナ候補リスト																	ペルソナ適合度	ペルソナ偏差値		
	Q1. 20歳未満	Q1. 20歳～29歳	Q1. 30歳～39歳	Q1. 40歳～49歳	Q1. 50歳～59歳	Q1. 60歳～69歳	Q1. 70歳以上	Q2. 自営業	Q2. 専門的職業	Q2. 公務員	Q2. 会社役員・団体役員	Q2. 会社員・団体職員	Q2. 派遣・契約・嘱託など	Q2. パートアルバイト・内職	Q2. 学生	Q2. 主に家事をしている	Q2.] 無職			Q2. その他	
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.14
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.30	52.27
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	-4.20	0.00	0.00	0.00	-2.90	42.14
2	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	46.72
1	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-2.30	43.59
1	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-2.30	43.59
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.14
2	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	-4.20	0.00	0.00	0.00	-5.20	36.59
2	0.00	0.00	0.00	0.00	2.45	0.00	0.00	3.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.03	63.69
1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.58	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	-4.20	0.00	0.00	0.00	0.68	50.78
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.58	57.78
2	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	55.17
2	0.00	0.00	0.00	0.00	2.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.25	66.63
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.14
2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-3.50	40.69
1	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	46.72
2	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-2.30	43.59
2	0.00	0.00	-2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	0.00	0.00	-3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-1.00	46.72



※ペルソナ適合度・偏差値一覧を用いれば、前掲の回答者有望度3層構造認識が可能になります。

# 【お問い合わせについて】

最後までご覧頂き、ありがとうございました。

当サービスに関するご質問やお見積り作成等は下記までお願いいたします。お客様がご手持ちのアンケートデータから、有力な手がかりを抽出できそうか否かの、無料相談を承ります。

〒 331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町2-92-1-508

株式会社データム

電話: 090-9647-2040 電子メール: [info@dtum.co.jp](mailto:info@dtum.co.jp)



担当：舘野